



西横野小通信

学校教育目標 「学ぶ子」「助け合う子」「元気な子」

第21号

令和5年1月31日

発行責任者 半田 裕司

TEL 393-1127

今年度のまとめ、そして、進学・進級に向けて！

まだまだ寒い日が続いていますが、暦の上では立春を迎え春が始まる2月になります。校庭の桜も枝にたくさんの芽をつけ、冷たい北風にさらされながらも花を咲かせる準備を着実に進めています。

子どもたちは、今年度を締めくくるまとめとして、また、4月の進学・進級に向けた準備として大切な3学期の学校生活を前向きな気持ちで過ごしています。その日その時にやるべきことにひたむきに全力で立ち向かいながら、自分の良さを伸ばし、きらきらと輝やかせていってほしいと思います。

新年の始まりにあたり、冬休み明けの本校の恒例行事である書き初め大会に、1、2年生は硬筆、3～6年生は毛筆で臨みました。どの子も筆に全神経を集中させ、良い緊張感が漂う雰囲気の中で真剣に取り組んでいました。一画一画に気持ちを込めて自分らしさを表現できたすばらしい作品が仕上がりました。作品は、各教室の廊下に掲示していますので、授業参観の際には、ご覧ください。



* 表彰の紹介 *

(敬称略) 表彰は後日、行います。

○県小学生総合体育大会エキサイトリーグ(ドッジボール) 3位 6年 ○○ ○○○ (東横野Big Wave)

○前橋ジュニア陸上記録会(碓氷陸上競技クラブの所属で出場)

女子小学6年1500m 第2位 5分45秒18 6年 ○○ ○○

女子小学高学年4×400m 第8位 5分29秒25 6年 ○○ ○○

男子小学5年走り幅跳び 第3位 3m72 5年 ○○ ○○

男子小学高学年4×400m 第4位 4分49秒73

5年 ○○ ○○ 5年 ○○ ○○

○安中市読書感想画コンクール 入賞

1年 ○○ ○○ 2年 ○○ ○○

3年 ○○ ○○ 4年 ○○ ○

5年 ○○ ○○ 6年 ○○ ○

○安中市児童生徒人権作文・標語・ポスター優秀賞

※作品は裏面をご覧ください。

人権作文 6年 ○○ ○○

人権標語

1年 ○○ ○ 1年 ○○ ○

2年 ○○ ○○○ 2年 ○○ ○○○

3年 ○○ ○○ 3年 ○○ ○○

4年 ○○ ○○ 4年 ○○ ○○

5年 ○○ ○○ 5年 ○○○ ○○

6年 ○○ ○ 6年 ○○ ○○○

人権ポスター 6年 ○○ ○



* 2月の主な予定 *

1日	水	学校朝礼
2日	木	授業参観・懇談会4～6年
3日	金	授業参観・懇談会1～3年
6日	月	集団下校 5校時
8日	水	表彰集会 4年校外学習
9日	木	クラブ
10日	金	P T A本部役員会議18:30
11日	土	建国記念の日
14日	火	読み聞かせ(1B 2A 4A 5A)
15日	水	年長児と1年生の交流会
16日	木	委員会
17日	金	体育集会
23日	木	天皇誕生日
24日	木	保健集会 学校運営協議会
27日	月	スクールカウンセラー来校



＊ 安中市児童生徒人権作文・標語・ポスター優秀賞の作品 ＊（敬称略）

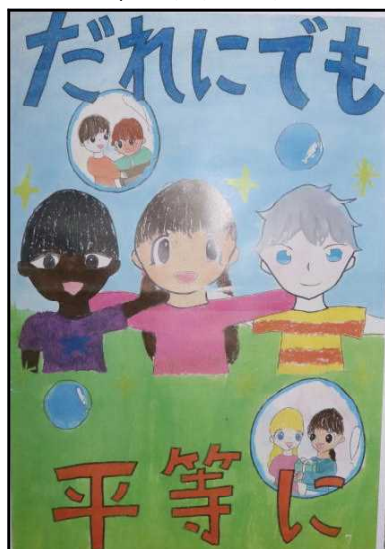


【人権標語】

学校は たのしくげん気に	過ごす場所	一年	〇〇	〇
ありがとうっていわれると	うれしくなるよ	一年	〇〇	〇
うれしいな	きらきらことばで	二年	〇〇	〇〇〇
うれしいな	こまっっているときの	二年	〇〇	〇〇〇
小さな声にも	耳をかたむけて	三年	〇〇	〇〇〇
だれにでもやさしく	思いやりをもってこうしよう	三年	〇〇	〇〇〇
ありがとう	うれしい気持ち	四年	〇〇	〇〇〇
言う前に	立ち止まってみて	四年	〇〇	〇〇〇
助け合う	その行動で	五年	〇〇	〇〇〇
ありがとう	言った分だけ	五年	〇〇〇	〇〇〇
守ろうよ	みんなの心	六年	〇〇	〇
気付いてよ	その一言で	六年	〇〇	〇〇〇

【人権ポスター】

6年 〇〇 〇



【人権作文】（一部を抜粋してご紹介します）

差別について 6年 〇〇 〇〇

コロナ差別が起こる原因は、自分の目に見えない「不安」があるからではないかと思います。世界中の人が、コロナに対する偏見をもたないで、人に優しくなれる世界が良いと思いました。

ニュースで白人が黒人をなぐっているのを見ました。どっちが先だから、どっちが後だから、そんな理由で差別しているのです。それはおかしいと思いました。それは、コロナ差別と同じように偏見からくるものだと思います。人権教室のDVDで見た外国の人は、見た目が怖いから、おかずを残すからなどの理由で、職場の人から差別されていました。見た目や考え方は、一人一人の個性です。それを否定することはおかしいと思いました。

男性が女性になりたい、女性が男性になりたい、という考えを否定し、「キモイ」などの言葉で差別をする人がいることも知りました。人種や性別なども個性として受け止めるべきで、他の人が否定することはおかしいと思いました。ちがうところも、良いところも悪いところも、みんなもっています。みんなが自分の個性、他の人の個性を認め合い、大切にしながら生きていくことができる世の中が良いと思いました。

私は、差別について調べることで、世の中には多くの差別があること、差別やいじめは自分の勝手な偏見から生まれることがわかりました。差別やいじめをなくすために、世界では、世界レディースデーやSDGs十の目標「人や国の不平等をなくそう」などの取組が行われています。今、私たちにできることは、友達の個性を認め、立場を考えて行動することだと思います。みんなが互いに認め合える世界を目指していきたいです。